

平成28年11月30日

学校だより

第11号



北九州市立高見中学校
〒805-0016 八幡東区高見町四丁目4番1号
Tel 093-651-1886
校長 丸山 誠吾

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

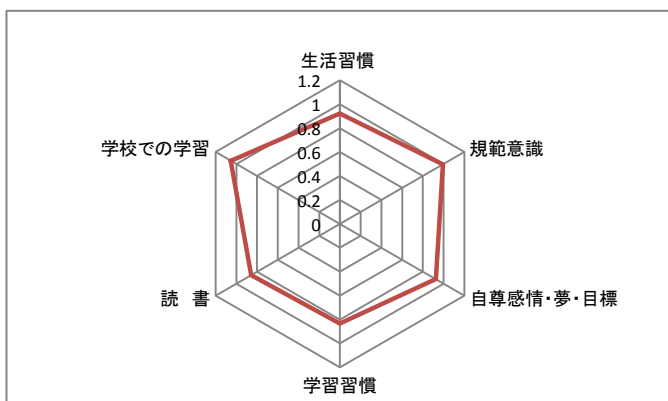
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部分を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	全国平均を上回ることができており、「話す・聞く」「書く」「読む」能力、「言語についての知識・理解・技能」ともに基礎的な学力をおおよそ身につけている。	上回っている
国語B	全国平均を上回ることができており、「書く」領域、「読む」領域の内容とも力を付けてきている。	上回っている
数学A	全国平均を上回ることができており、「数学的な技能」、「数量や図形などについての知識・理解」など基礎的な学力をおおよそ身につけている。	上回っている
数学B	全国平均を上回ることができており、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域ともバランスのとれた学力を身につけている。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・自分で計画を立てて勉強をしている生徒、家で学校の授業の予習・復習をしている生徒は全国平均と比べて低く、学習習慣に課題が見られる。
- ・将来の夢や希望をもっている生徒は全国平均と比べて低く、それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結びつけることができるようなキャリア教育の推進が必要である。
- ・本校では、各教科の授業の中で、本時の「めあて」を板書で示す等、「ねらい」を明確にする導入段階づくり、「振り返り」と「まとめ」で生徒にその時間の学習内容を理解させる授業を終末段階でしっかりと取り組んでおり、その成果が調査結果に表れてきている。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ・日々の宿題は、教科担任が提出の有無、内容等を点検した後生徒に返却する。長期休業日中の課題等については係の生徒が回収し、提出の有無を調べた後、担任が確認。その後、教科担任が内容を点検し、生徒に返却する。未提出が続く場合は、教科担任や担任から提出を促すなど、提出物の徹底を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習の時間を確保するために、課題（宿題）の内容や量について各教科で共通理解を図るとともに、生活ノートを活用した家庭学習の方法について、担任が点検・指導を行う。